

平成15年3月12日
(社)日本物流団体連合会

施設見学会を開催(東京港内諸施設)

(社)日本物流団体連合会は平成15年3月11日、今後の港湾における総合的な静脈物流拠点の形成、および国際物流拠点としての港湾機能の強化といった視点から、東京港内諸施設の見学会を開催しました。会員企業・団体から約40名の出席者がありました。

まず「東京みなと館」において、同館館長より東京港の概要や臨海副都心開発計画等について説明を受けました。

続いて東京都のごみの最終処分場である「中央防波堤外側埋立処分場(中防外側)・新海面処分場(新海面)」において同地の概要説明を受け、現場見学を行いました。中防外側の埋立は平成15年度に終了するが、近年東京都のごみは減少しており、新海面は今後30~40年使用できる見込みであるとのことでした。

次に「城南島建設発生土積出基地」を見学しました。同基地は京浜地区の公共事業によって発生する土砂を受け入れ(本年度約50万立米)、中部国際空港等の埋立のために積み出す海上輸送基地です。近年の公共工事の減少に伴い、用地の一部を、民間による建設発生廃材リサイクル施設として利用するとのことでした。

最後に「大井コンテナふ頭新4号バース」を視察し、大井コンテナ埠頭の概要や再整備事業等について説明を受けました。同埠頭の国際競争力強化のため、コンテナ船の大型化への対応、ターミナル能力の増強、耐震設備の強化等が図られているとのことでした。

今回は定員を大幅に超える申込があり、会員企業・団体の関心の高さがうかがえる見学会でした。

写真をご入用の場合は、事務局までご連絡ください。

担当 乾・山名
電話 03-3593-0139